

水に関するフィールドワークを実施しました！（２）

③浦上浄水場



7月28日（木）、22名の生徒が浦上浄水場（長崎市昭和町）を訪問し、浄水施設を見学させていただきました。施設を見学しながら浄水システムの説明していただき、昭和20年から稼働している浦上浄水場の歴史、そして現在長崎市が抱える水問題など、様々なお話をいただきました。途中で実験を取り入れながら、専門的な内容もわかりやすく説明していただきました。最後に、場長の石橋様が、「水質浄化システムにはまだまだ課題がたくさんある。これをどう解決するか、皆さんの柔軟な考え方で取り組んでほしい」と述べられ、私たちがどのようにして水を守っていくのか、考えるきっかけとなりました。



④長崎大学工学部オープンラボ

8月2日（火）に、長崎大学工学部の冨田彰秀 教授、藤岡貴浩 准教授のご協力のもと、28名の生徒がオープンラボに参加しました。冨田先生は、イメージしにくい浮力や表面張力、水の流れを身近なものを用いての実験や研究設備を用いた実演などで、わかりやすく説明して下さいました。藤岡先生は、スライドを用いて「浄水と下水の再利用」をわかりやすく説明して下さいたあと、実際に汚れた水を凝集処理や膜処理を用いて浄化を行う実験を見せていただきました。最後に、冨田先生は「何事にも『なぜそうなるのか？』と問いかけ、考えることが大事である」とおっしゃっており、研究とは何か、どう取り組んでいけばよいかといった点まで話をさせていただきました。生徒からは「長崎は近くに海があるが、その環境について全く知らなかった。今回のオープンラボで知ることができてよかった。」といった感想が聞かれ、充実した研修となりました。

